事務局便り

1．第 10 回 平成 14 年度可視化情報講座

主催：東京電機大学

協賛：　映像情報メディア学会、ガスタービン学会、応用物理学会、日本風工学会、可視化情報学会、日本建築学会、画像情報教育振興協会、日本工学教育協会、(CG-ARTS 協会)、日本写真学会、画像電子学会、日本数値流体力学会、空気調和・衛生学会、日本超音波医学会、計測自動制御学会、日本フルードパワー学会、自動車技術会、日本リモートパワー学会、精密工学会、日本流体力学会。ターボ機械協会、東京都教育委員会、電気学会、千代田区教育委員会、電子情報通信学会、東京電機大学交友会、土木学会 CPD プログラム

開催期間：平成 14 年：5 月 18 日（土）～6 月 22 日（土）
　　初回・最終回は土曜日、その他毎週水曜日開講全７回、毎回 2 コマ）

開催時間：初回・最終回　１時限目　14:00～15:20　２時限目　15:30～16:50
　　その他　　１時限目　18:00～19:20　２時限目　19:30～20:50

場　　所：東京電機大学神田キャンパス 7 号館 7501 教室
　　（最寄駅 JR：御茶ノ水、神田/地下鉄：淡路町、新御茶ノ水他）

講義日程：
- 5/18（土）　1．見えないものが視えてくる
　　2．変化球のナゾを解く！
- 5/22（水）　1．火花追跡法による気流の可視化
　　2．光の屈折と干渉を利用した流れの可視化
- 5/29（水）　1．画像処理を利用する PIV による流れの可視化
　　2．流れのコンピュータシミュレーションと可視化
- 6/ 5（水）　1．サーモグラフィで温度場を視る
　　2．CT スキャンで密度場、温度場を視る
- 6/12（水）　1．「宇宙からの目」のしくみ
　　2．宇宙から地球を見る
- 6/19（水）　1．医療における可視化技術Ⅰ：CT と MRI
　　2．医療における可視化技術Ⅱ：超音波診断装置
- 6/22（土）　1．立体の可視化技術（立体表示の理論と最新技術動向）
　　2．バーチャル・リアリティ・システムの最新動向

定　員：　８０名（申込順に受付、定員になり次第締め切ります）

受講料：　企業個人　30,000 円/一般個人　　25,000 円
　　学生　　10,000 円/科目等履修生　40,000 円
　　企業団体（同時に３名まで受講可）　60,000 円
　　受講日指定（１回・１名）　　5,000 円
　　銀行振込または現金書留、もしくは当日ご持参ください。

©日本数値流体力学会

振込先：UFJ 銀行　神田支店　普通３０９８５７　学校法人　東京電機大学
本学卒業生及び協賛学会会員（賛助会員含む）並びに協賛学協会賛助会員社の方は、上記受講料より 10%引きとなります。

受講対象：　メーカー技術者、研究者、大学院生、一般

申込期間：　平成 14 年 4 月 22 日（月）から講義当日まで受付。

申込方法：　E-MAIL、Fax、もしくは郵送にて必要事項記入の上、可視化情報講座事務局（学務部学事課）までお申込みください。なお、本学ホームページ上からもお申込みできます。http://www.dendai.ac.jp/gakuji/visual10/

修了証　：　講座の課程を６回以上修了された方には修了証を発行いたします。

お申込み・お問合せ先：　〒101-8457　千代田区神田錦町 2-2
東京電機大学　学務部　学事課　可視化情報講座事務局
Tel:03-5280-3555/fax:03-5280-3623
E-mail:kouzakashika@jim.dendai.ac.jp
URL http://www.dendai.ac.jp/

2. 日本混相流学会年会講演会 2002

主　催　日本混相流学会

協　賛　化学工学会、可視化情報学会、火力原子力発電技術協会、空気調和・衛生工学計測自動制御学会、資源・素材学会、スラリー輸送研究会、石油学会、ターボ機械協会、土木学会、農業土木学会、日本ウォータージェット学会、日本埋立浚渫協会、日本エアロゾル学会、日本機械学会、日本空気清浄協会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本浚渫・空気圧送協会、日本数値流体力学会、日本造船学会、日本鉄鋼協会、日本伝熱学会、日本冷凍協会、日本バイオレオロジー学会、日本舶用機関学会、日本ボイラ協会、日本油空圧学会、日本流体力学会、粉体工学会、日本雪氷学会、日本雪工学会、日本液体微粒化学会、日本洗浄技能開発協会、東海流体熱工学研究会、粉体工学会中部談話会

開催日　平成 14 年 7 月 29 日(月)、30 日(火)、31 日(水)

会　場　名古屋大学 工学研究科 １号館（名古屋市千種区不老町）
ＪＲ名古屋駅より地下鉄東山線本山駅（20 分）③、④出口から徒歩約 15 分。
または、本山駅から市バスで「名古屋大学前」下車

会場地図

開催趣旨: 日本混相流学会は 2000 年（平成 12 年）から新たに「年会講演会」を開催し、これを本学会の最も大きな研究発表、討論の場と位置付けてきました。その 2002 年の年会講演会を平成 14 年 7 月に名古屋大学（名古屋市）で開催いたします。21 世紀において、混相流の科学技術はエネルギー、環境、生体・バイオ、宇宙など多くの学術分野の諸問題と深く関連し、その重要性が益々増加していくことが予想されます。このような広範囲な分野への学問領域の拡大と学問としての基礎の構築が混相流研究の中心的役割を担う本学会の最大の責務と考えられます。本学会を中心として、基礎と広い領域への応用を両輪とし、混相流研究の大いなる発展が期待されます。年会講演会 2002 は、オーガナイズドセッションと一般セッションからなり、研究発表と討論を通じて、混相流の最新の情報交換を行い、混相

©日本数値流体力学会

流研究のさらなる発展を目ざした企画をしています。なお、日本混相流学会が幹事学会として開催されてきた日本学術会議「混相流シンポジウム」も同時に開催され、本講演会はその「混相流シンポジウム」と密接な連携を保って実施されます。この研究分野に携わっている方々、この研究分野に関心のある方々の多数の参加と論文発表を歓迎します。

オーガナイズドセッションの講演募集テーマ（案）

OS-1　混相噴流の流動と制御

オーガナイザー：社河内　敏彦(三重大学)、内山　知実(名古屋大学)

OS-2　砕波帯のダイナミックスへの混相流的アプローチ
オーガナイザー：灘岡　和夫（東京工業大学）、後藤　仁志（京都大学）

OS-3　超音波現象とその応用
オーガナイザー：三留　秀人(産総研)、松岡　辰郎(名古屋大学)

OS-4　気液および気液固混相流反応装置内の現象とその応用

オーガナイザー：齋藤　隆之(静岡大学)、坂東　芳行(名古屋大学)

OS-5　気固混相流反応装置内の現象とその応用

オーガナイザー：守富　寛(岐阜大学)、出口　清一(名古屋大学)

一般セッションの講演募集テーマ

GS-1　混相流の物理　GS-2　混相乱流　GS-3　混相流の数値解析　GS-4 相変化　GS-5 界面現象　GS-6 原子力　GS-7 混相流の実験・制御技術　GS-8 粉体・スラリー輸送　S-9　液体の微粒化　GS-10　エネルギー・環境問題　GS-11　生体・バイオ　GS-12　その他

講　演

（1）講演の採否は年会実行委員会にご一任願います。

（2）１件につき講演時間 10 分、討論時間 10 分の予定ですが、件数によって多少変更がある場合も想定されますのでご了承下さい。

（3）講演論文原稿は、A4 用紙（26 字×60 行×2 列=3,120 字/頁）2 枚を原則としますが、4 枚も認めます。ただし、4 枚の場合、超過分印刷費 2,000 円を徴収する予定ですのでご承知おき下さい。原稿の形式に関しては講演申込者に対して改めてお知らせします。

（4）整理の都合上、講演題目、著者については、申込み時のものから変更しないようお願いします。

講演申込締切　平成 14 年 3 月 29 日(金)

原稿提出締切　平成 14 年 5 月 31 日(金)

講演申込方法　「年会講演会 2002 講演申込」と標記し、 1)講演題目（2）氏名(ふりがな)、所属機関、連絡先、所属(協賛)学会名と資格(連名者がある場合には講演者氏名の前に*印をつける)（3）講演概要（200 字程度）　（4）キーワード（3

©日本数値流体力学会

語以内)　(5) 希望セッションのテーマ番号(第 3 希望まで明記)　(6) 執筆要項送先　住所、氏名、郵便番号、電話番号、ファックス番号、E-mail アドレスを明記し、下記の申込先まで E-mail またはファックスでお送り下さい。整理の都合上できるだけ E-mail による申込みをお願いします。申込みをされた方々には原稿執筆要項と見本をお送りします。

整　理　費　講演 1 件につき 1,000 円を申し受けます。年会講演会参加の事前申込みと同時にご送金ください。

講演申込先　〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 工学研究科 分子化学工学専攻
坂東芳行　TEL:052-789-3622、FAX:052-789-3272
E-mail: bando@nuce.nagoya-u.ac.jp

年会講演会参加費　事前申込みの場合　一般 7,000 円　学生・院生 2,000 円
当日申込みの場合　一般 9,000 円　学生・院生 4,000 円
(但し、同時開催の「第 21 回混相流シンポジウム」にも無料参加できます。)

事前申込締切　平成 14 年 6 月 28 日(金)

年会講演会の参加者には、当日、論文集を配布致します。論文集のみご希望の方は、1 冊 7,000 円(送料を含む)にて送付致します。また、上記「第 21 回混相流シンポジウム」の論文集も無料で配布致します。

懇　親　会　日時　平成 14 年 7 月 30 日(火)　17:30-19:30
場所　名古屋大学 シンポジオンホール
会費　事前申込み (6 月 28 日まで) 一般 5,000 円 学生・院生 3,000 円
当日申込み　一般 7,000 円 学生・院生 4,000 円
(但し、同伴夫人はいずれの申込みの場合も無料です。)

送　金　先　下記の銀行振替口座、または現金書留にて上記講演申込先にお送り下さい。

銀　行　東海銀行　本山支店（店番 167）

名　義　混相流 2002 中村正秋 (コンソウリュウ 2002 ナカムラマサアキ)

口座番号　普通口座 1258695

問合先　〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 工学研究科 分子化学工学専攻　坂東芳行(実行委員(総務担当))

TEL:052-789-3622、FAX:052-789-3272　E-mail: bando@nuce.nagoya-u.ac.jp

または

©日本数値流体力学会

中村正秋　(年会実行委員長)

TEL:052-789-3618、FAX:052-789-3272 E-mail: nakamura@nuce.nagoya-u.ac.jp

今後、下記のホームページを通じて各種の情報を提供します。
http://www.nuce.nagoya-u.ac.jp/e6/multiphase/nagoya02.html

3．日本流体力学会年会 2002　（ http://nenkai02.fluid.mech.tohoku.ac.jp ）

主催：日本流体力学会
開催日：2002 年 7 月 23 日（火）～25 日（木）
会場：仙台国際センター 仙台市青葉区青葉山　（仙台駅よりタクシー１０分、徒歩４０分）
　　Tel:022-265-2450　FAX：022-265-2485
講演申込締切：2002 年 3 月 29 日（金）

4. 21st International Congress of Theoretical and Applied Mechanics
August 15 to 21, 2004, Warsaw, Poland
http://ictam04.ippt.gov.pl

The 21st International Congress of Theoretical and Applied Mechanics (ICTAM) will be held from 15 to 21 August, 2004, in Warsaw, Poland. The Congress was invited by the:
・Polish National Committee of IUTAM
・Institute of Fundamental Technological Research of the Polish Academy of Sciences
・Warsaw University of Technology.
The venue is the Main Building of Warsaw University of Technology.
President of ICTAM 2004 and Chairman of the Local Organizing Committee is
Prof.Witold Gutkowski
Co-chairman of ICTAM 2004 are: Prof.Michal Kleiber and Prof.Wlodzimierz Kurnik
Secretary-General of ICTAM 2004 is Prof.Tomasz Kowalewski.
Correspondence related to the Congress should be sent to:
Prof.Tomasz Kowalewski
ICTAM04 Secretary-General
Institute of Fundamental Technology
Swietokrzyska 21, 00-049 Warszawa, Poland
Phone:(+ 48 22) 826 9803　Fax: (+ 48 22) 826 9815 E- Mail: ictam04@ippt.gov.pl
Preliminary information on ICTAM 04 is available on the Congress World Wide Web site at: http://ictam04.ippt.gov.pl
The site is modified regularly with upcoming information.

©日本数値流体力学会